

案件概要書

2018 年 6 月 26 日

1. 基本情報

- (1) 国名：ガーナ共和国
- (2) プロジェクトサイト／対象地域名：国内全域
- (3) 案件名：人材育成奨学計画（The Project for Human Resource Development Scholarship）
- (4) 計画の要約：本計画は、同国の指導者となることが期待される若手行政官等が本邦大学院において学位（修士・博士）を取得することを支援することにより、同国の開発課題の解決を図り、もって人的ネットワーク構築を通じた二国間関係の強化に寄与するもの。

2. 計画の背景と必要性

- (1) 本計画を実施する外交的意義

ガーナは、国際場裏における我が国の友好国であり、また過去 6 回の TICAD にすべて大統領が参加しており、開発協力の実施による協力関係の維持・強化は重要である。また、同国は英語圏であり、治安も安定していることから、日本企業による西アフリカ進出のゲートウェイとしても期待されている。

我が国は、2016 年 8 月に開催した TICADVⅦにおいて、「質の高さを活かした約 1,000 万人の人材育成」を実施することを表明しており、本計画はこれを具体化するものである。

- (2) 当該国における中核人材育成分野の開発の現状・課題及び本計画の位置付け

同国においては、各開発課題を取り扱う政府機関・関係省庁の職員・組織・制度・財政等の能力・体制が、取り組むべき課題に比して総じて不足しているという現状があり、いずれの重点支援分野においても、行政能力の向上と制度構築が最大の課題であり、本計画が取り組む中核となる行政官等の育成が期待されている。

本計画で設定している以下の対象セクターは我が国の「対ガーナ共和国国別援助方針」における 4 つの重点分野と整合的である。

- ①農業・農村振興：重点分野「農業（稲作）」に該当、稲作振興や農業開発を支援。
- ②資源・エネルギー：重点分野「経済インフラ（電力・運輸交通）」に該当、エネルギー政策運営能力及びエネルギー開発推進を支援。
- ③地方農村部活性化：重点分野「保健・理数科教育」に該当、保健政策実施能力の強化。
- ④行財政機能の強化：重点分野「行財政機能の強化」に該当、経済政策運営能力の強化。

3. 計画概要

- (1) 計画概要

- ① 計画内容

- ア) 実施内容

1 期あたり最大 11 名（修士課程 10 名，博士課程 1 名），計 4 期分について若手行政官等の本邦大学院への留学に必要な経費を支援する。また協力準備調査では 4 期分の計画を策定し，戦略的・効果的な受け入れを継続的に実施する。

イ）コンサルティング・サービス/ソフトコンポーネントの内容

- ・ 翌年度来日留学生の募集選考支援を行う。
- ・ 留学生の滞日に関し，来日準備，留学中のモニタリング，帰国準備等を行う。
- ・ 留学生への奨学金支援，大学への授業料等支払を行う。

ウ）調達方法

協力準備調査の実施者を公示で選定し，原則として当該調査の実施者を本計画の実施代理機関として JICA が推薦する予定。

② 期待される開発効果

同国の開発課題解決のための人材の育成及び我が国と同国政府との人的ネットワークの構築を図り，もって同国の開発課題の解決及び人材面からの二国間関係の強化に寄与する。

③ 計画実施機関／実施体制：財務省（Ministry of Finance）

④ 他機関との連携・役割分担：特になし

⑤ 運営／維持管理体制：同国において，同国政府関係者及び日本側関係者（財務省，保健省，在ガーナ日本大使館，JICA ガーナ事務所）で構成される運営委員会を設置する。

（2）その他特記事項

- 本計画のジェンダー分類は事前調査・審査によって分類を決める案件とし，本計画においてジェンダー主流化のための直接の活動は予定されていないが，女性行政官の人材育成ニーズを踏まえた支援の検討を行う。

4. 過去の類似案件の教訓と本計画への適用

過去の人材育成奨学計画において，訪日留学生選定の対象省庁が少ないために優秀な留学生の確保が十分とはいえない例もあり，対象省庁を幅広いものとする等して，帰国後の活躍がより見込まれる優秀な留学生候補を選定できるように工夫する。

以 上